

安全のために必ず守ること

※据付け前に本説明書と室内ユニット、室外ユニットの据付工事説明書をよくお読みください。
●据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。



注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの方法等を説明し、本書をお渡ししてください。
●この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。



警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 作業中に冷媒が漏れた場合は、換気する。
- 冷気が火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。
- 設置工事終了後、冷媒が漏れていないことを確認する。
- 冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

- 据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 据付工事は、冷媒R410A用に製造された専用のツール・配管部材を使用し、この据付工事説明書に従って確実にを行う。
- 使用しているHFC系R410A冷媒は、従来の冷媒に比べ圧力が約1.6倍高くなります。専用の配管部材を使用しなかったり、据付けに不備があると破裂・けがの原因になり、また水漏れや感電・火災の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に



注意

- ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。
- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。

- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実にを行う。
- 不完全な断熱工事を行うと配管等表面が結露して、露タレ等が発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。

1. 部品

この箱には、この説明書の他に下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	圧力計	1	高低圧一体型	⑤	のぞき板	1	
②	ネジ	6	4×10	⑥	取付ゴム	1	
③	配管	1	高圧側 φ2(赤マーク付)	⑦	取付板	1	
④	配管	1	低圧側 φ4				

*圧力計の測定範囲:高圧側 0~6Mpa/低圧側 0~4Mpa

2. 取付要領

- ユニットの運転を停止した後、サービスパネルを取外してください。(図1)
- 前板とバルブベッドに取付けられたサポートを取外してください。(図2)
*圧力計取付後、サポートは取付け不要です。適宜廃棄してください。
- 配管③④の注意ラベル側を圧力計①に接続し、反対側を高・低圧のチェックバルブにそれぞれ接続してください。(図3)
*この時少し冷媒が漏れます。
- エアパージを行うには圧力計側の配管フレアナットを少し緩め、その接続部よりシューツというエア抜け音を確認したら直ちに本締めしてください。 *ガス漏れのないことを確認してください。
- 取付板⑦をサービスパネル上部のノックアウト穴に合う位置にネジ②(2個)にて取付けてください。(図1、3)
- 圧力計①を取付板⑦にネジ②(4個)にて取付けてください。(図3)
- サービスパネル上部のノックアウト穴を打ち抜いて、のぞき板⑤、取付ゴム⑥を取付けてください(図4)
- 取付けが完了しましたらサービスパネルをもとどおりに取付けてください。

図 1

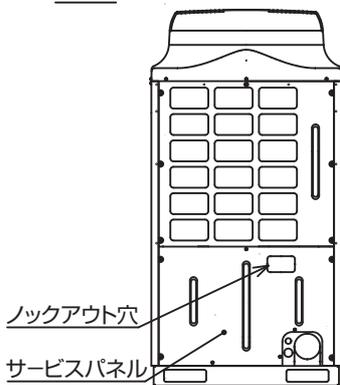


図 2

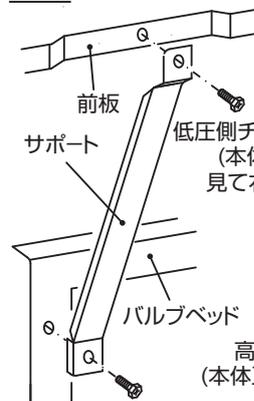


図 3

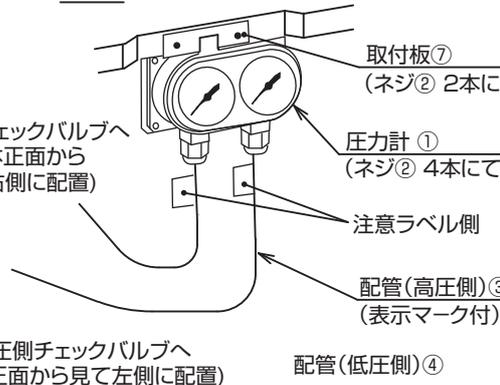
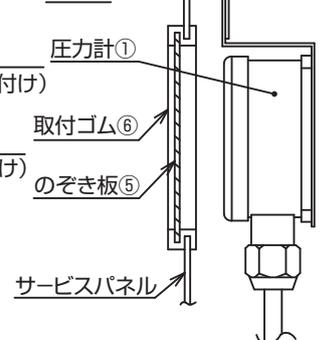


図 4



3. 注意

- 圧力計の配管が板金のエッジや他の配管に接触しないように注意してください。
また、ボールバルブ等の操作の邪魔にならないようにしてください。
- 作業を行う場合には、手袋等の防具を着用し板金のエッジには十分注意してください。